

フィールドマナー

や・さ・し・い・き・も・ち

や

野外活動、無理なく楽しく

さ

採集は慎んで、自然はそのままに

し

静かに、そーっと



い

一本道、道から外れないで

き

気をつけよう、写真、給餌、
人への迷惑

も

持って帰ろう、思い出とゴミ

ち

近づかないで、野鳥の巣

マナーを守って “野鳥にやさしい撮影を”

戸隠森林植物園は、森林のレクリエーション利用と森林に関する知識の普及を図ることを目的に設立されました。

園内には、「モミの木園地」
「水芭蕉園」「植物観察園」な
どや「八十二森のまなびや」
「野生生物観察舎」「みどりが
池」などの施設と、これらを結
ぶ散策歩道があります。

また、この園は戸隠小鳥の森の
一部にもなっており、多数の小
鳥が生息しています。



アカハラ

撮影は鳥へのやさしさだけでなく、撮影者同士、他のバードウォ
ッチャや自然散策に訪れる人たちへの気配りも忘れずに。

戸隠森林植物園管理運営協議会

デジタルカメラ等の普及により、以前より手軽に野鳥撮影を楽しむことができるようになりました。一方で撮影マナーが悪い人も見かけます。撮影に夢中になり、生息環境を荒らしたり、鳥への危害や生態系への影響を与えていることもあります。

撮影時には「やさしいきもち」を忘れずに。

大きな声を出さない 大きな動きをしない



野鳥を撮影する際は、驚かさないことが何よりも大切です。

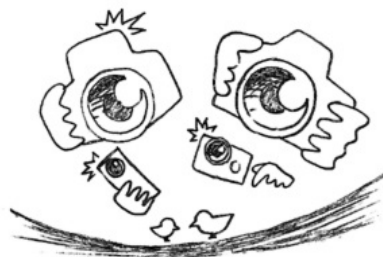
鳥たちは周囲に目配りをするとともに、人の動きにも注視しています。

フィールドでは大きな声や、大きな動きは鳥たちにとって脅威です。自然の中で自由に生活する”ありのまま”の写真ほど、人に感銘を与えるでしょう。

営巣中の撮影はご遠慮ください

近年、繁殖場所での撮影により**営巣放棄**など様々なトラブルが発生しています。

このため、当園では営巣中は撮影や観察をお断りすることがあります。



鳥と人との間には一定の距離が必要です。鳥たちにとって「イヤな距離」があるのです。

撮影のために巣の周囲の枝を切る行為や木道からはみだして湿地に入り込むなどの行為はもってのほかです。

営巣放棄：人間の気配を嫌って、鳥が卵やヒナをあきらめて、巣に戻らなくなり、残された卵やヒナは死んでしまいます。

ねぐらも鳥たちにとって大切な場所です。ねぐらを変えてしまうほどの行為をしないようにしましょう。